

布田小地区ハッピータウン協議会 2016 年総会終了

新・運営委員さん！

磯原 直道



池本 明央



平成 11 年から布田五丁目に住んでおりますが、昨年まで都内に勤めていたこともあって、地元のことはまだまだ不案内な状況です。これを機に皆さんとの交流を深め、布田小地区がますますハッピータウンになるように、微力ながらお手伝いさせていただきます。
(いそはらなおみち)



これまで布田小おやじネットとして約 8 年、子供達の従順な「しもべ」として地域イベントのサポートに従事して参りました。これからは少し視野を広げ、この地域が住みやすい街であり続けられるよう、微力ながらお手伝いが出来ればいいな、と思っております。
(いけもとあきお)

関口 智子



佐藤 京鼓



83 世帯の染地かもめ会の会長を今年から務めることになりました。他の自治会との交流なども行いながら、顔がわかり大事があった時には力を合わせられる自治会を目標にしていきたいと思います。最近では行けてませんが趣味は旅行です。どうぞよろしくお願い申し上げます。
(せきぐちともこ)

65 歳以上の相談窓口地域包括支援センターちょうふ花園からの参加です。10 年前ほど前にサッカーの友人に誘われて布田小のお祭りに参加し「楽しかった」と笑顔で帰宅した息子を思い出します。布田のクリエイティブな世代を超えた活動に参加させていただき地域のために少しでもお役に立ちたいと思っています。
(さとうきょうこ)

吉村 竜児



田村 敦史



本年度から布田小学校の PTA 会長になりました。調布に住み始めて 16 年で、4 年生の双子の娘たちがいます。自然も多く、のどかな地域で子育てが出来ていることにとても感謝しています。少しずつでも地域に貢献していけたらと思いますので、よろしくお願いします。
(よしむらりゅうじ)

今年度より運営委員として参加することになりました。地域のみならずの温かいご支援をいただきながら、こころの健康支援センターは開設から 10 年目を迎えました。今後とも「ハッピー」な地域を実現できるように、微力ながら様々な活動に参加させていただきたいと思っています。
(たむらあつし)

去る 5 月 31 日 こころの健康支援センター（布田 5 丁目）にて当地区協会の総会が開催されました。19 時より昨年の活動報告および決算、また今年度の活動計画および予算案が話し合わせ、無事承認されました。



総会を無事終了後に総会出席者の皆さんと

平成 27 年度布田小地区ハッピータウン協議会決算書				
収入の部				
項目	決算額	予算額	備 考	
調布市地区協議会助成金	500,000	500,000		
小 計	500,000	500,000	※ 予算額は、助成金交付額を記載 (A)	
1 前年度繰越金	222	138		
2 預金利息	83	50	ゆうちょ銀行利息	
3 雑収入	0	0		
小 計	305	188		
収入合計	500,305	500,188		
支出の部				
項目	決算額	予算額	備 考	
1 事務費	61,681	50,000		
(1) 事務費	22,239	15,000	資料等印刷代、インク等事務用品費	
(2) 会議費	24,860	25,000	会議会場代(役員会)、会議時お茶代	
(3) 通信費	14,582	10,000	会議案内等郵送料	
2 事業費	385,580	450,000		
(1) 広報・交流推進費	137,246	200,000	HP運営費、広報誌発行経費4000部×1冊	
(2) 防災・安全対策費	231,635	210,000	布田小防災教育の日避難所訓練、防災訓練	
(3) 地域福祉増進費	16,699	40,000	ハッピータウン	
小 計 (B)	447,261	500,000		
予備費	305	188	(次期繰越金)	
小 計	305	188		
支出合計	447,566	500,188		

調布市地区協議会助成金		
収入の部 助成金小計予算額	500,000	…(A)
支出の部 助成金対象経費小計決算額	447,261	…(B)
清算額 (A-B)	52,739	

総会資料は下記 URL をご参照ください



<http://happy-usako.jp>



子どもたちも熱心に AED 訓練

多いのでリーダーシップをとってテキパキと指示してほしい。⑤お風呂の水を貯めている。3 日分の飲み水（3ℓ×3 日）と簡易トイレ⑥定期的な広報をしてほしい。

①鈴木士郎さん②布田 3 丁目③ 4 人④皆さんの積極的な参加姿勢が良い。実際の時にも同じようにできるかが心配。⑤余りでできない。これから備蓄品を増やしたい。⑥防災安全活動を通じて地区協スタッフと子どもが顔見知りになっているようで嬉しく思っています。

①池本敦子さん②布田 6 丁目③ 2 人④災害時に必要となる情報が網羅されていて安心した。特に後半の 4 つのブースや AED などの訓練が良かった。⑤水・食料の備蓄。家具転倒窓ガラス飛散防止。災害時の家族の行動についての話し合い。⑥今回のような訓練を定期的にいい地域に定着させてほしい。起震車の体験もしてみたい。

①村越啓和さん②布田 6 丁目③ 2 人④実技があつて特に子どもにとって良かった。α 米はイメージと違って意外においしかった。⑤水（2ℓ×20 本）備蓄。災害時緊急メールでの安否確認。⑥今後も定期的な訓練の機会を作ってほしい。



かけつけてくれた調布南高校の防災活動支援隊の皆さん



アルファ米がおいしい秘訣「大釜で湯沸し」

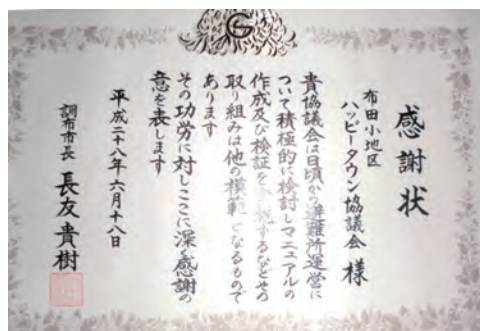


後列中央が当副会長の山本光則さん



グリーンホール小ホール

去る 6 月 18 日、グリーンホール小ホールにおいて行われた、平成 28 年度防災講演会の席上、当布田小地区ハッピータウン協議会が行っている、避難所運営マニュアルの作成などの地域防災活動に対して、長友調布市長から感謝状を頂いた。当地区協と共に、石原、八雲台、国領、杉森の 4 つの地区協議会にも感謝状が贈呈された。当日は当地区協依田会長が体調不良のため、山本副会長が贈呈式に出席した。



地区の災害対応活動の基本ルールを明確にしたものなので、地域防災活動の礎として重要なものであることは事実ですが、まだ最初の一步というべき第一版であり、今後避難所訓練などを通して継続的に見直し・改善をしていく必要があります。マニュアル作成にご尽力頂いた地区協メンバー各位を始め、市の総合防災課、布田小学校の方々に改めて感謝したいと思います。」と語ってくれた。

市長は挨拶の中で、防災は行政だけで行えることは限られており、地区協など地域コミュニティの日頃からの活動が重要と繰り返し訴えられていた。また調布消防署防災担当の石崎係長も、地区協の役割として消防署などからの公助に対し、自助と共助の橋渡しとなる活動、例えば地域内での訓練指導などが期待されていると述べていた。また、感謝状を受取った山本副会長は、「今回感謝状を頂いた避難所運営マニュアルは、布田小